

保育所等におけるマスク着用について

これまで

オミクロン株の感染拡大により、子どもや保育士等の感染をできる限り防ぐ観点から、無理のない範囲で、かつ、一時的な対応として、子どものマスク着用について、お願いしてきました。

これから

これから夏季を迎えるにあたっては、熱中症のリスク回避や子どもの発達への影響に配慮し、屋外（園庭や公園等）の活動においては、保護者の理解を得るよう努めながら、マスクなしで活動することをご検討ください。

※手洗いや健康観察などの基本的な感染症対策については、引き続き、徹底するようにしてください。

子どものマスク着用で懸念されること

- ・ 熱中症のリスク
- ・ 子どもの体調変化（息苦しさ、嘔吐等）に気づきにくい
- ・ 口元を含めた表情が見えないこと等による、子どもの発達への影響



チーバくん



千葉県